

学生のための
政策立案コンテスト2018

口腔環境整備政策

”歯の健康格差”
の解消

Kチーム政策案



「健康」を取り巻く現状の分析



【理想状態】

選択的健康格差(知識/意思に反して、健康に寄与する行動を取らない/取れない結果生じる格差のこと)のない状態

【立案によって達成したい目標】

健康に関する知識の獲得

知識や意思の健康的行動への反映

【問題領域】

所得貧困

時間貧困

今回、時間的余裕の程度による変化が大きい/健康状態全体への影響の大きい、特定の生活習慣に対する政府のアプローチを考え、口腔環境に着目した

健康的行動を阻む主要因として特定した所得貧困と時間貧困の2つを比較評価した。低所得者層へのアプローチによる健康政策の失敗事例・所得格差への社会や行政のより高い注目度から、時間貧困への政府介入必要性を最重要と断定した。



政策の全体像へのプロセス

【政策対象層】 未就学児をもち時間貧困に陥っている親に特定
…時間貧困層は未就学児をもつ二人親世帯及びひとり親世帯に多い・より低い年齢層に政策を打つほうが中長期的解決には効果的である と考察した。

《政策案の方向性》 未就学児の口腔環境の整備

…時間的余裕の程度による変化の振幅が大きいと思われる生活習慣に対するアプローチを考えた際、 未就学段階の環境がその後の人生に大きく関わる・身体全体の健康状態全体との関わりが深い・日常的で身近なこと として口腔環境に注目した。

具体的に、未就学児の口腔環境が二極化しつつある現状に対する強い問題意識・齲歯や歯周病と身体全体の健康悪化との関わりを考慮し、政策方向性を「就学前段階の子供の歯」へのアプローチとした。



政策案① 診断結果通知の改善

目的

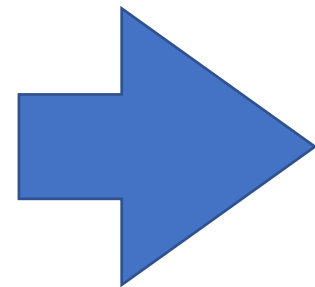
将来的な健康リスクの大きい人々にも
歯の健康状態を明確に自覚させ、意識を改善させる。

概要

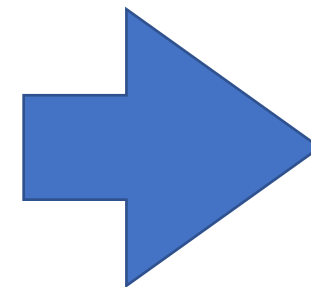
従来の数値のみの診断結果に、新たに症状の深刻度別の写真を掲載、個人の診断結果をアルファベットにて対応させた評価を加える。

写真の掲載で症状の視覚的な認識し、将来症状が悪化した場合の深刻さを自覚することを可能にする。

生活の質の向上
の困難な状況



適切な情報提供



危機感の高まり・
生活習慣改善の意
思の向上



政策案②延長保育の割引サービス

目的

時間が対価であるサービスの提供による時間貧困の改善、更には時間貧困層の歯科受診率向上

概要

国及び地方自治体の負担の元、延長保育を割引することで、
歯科受診と引き換えに延長保育を利用しやすくする



政策案②延長保育の割引サービス

延長保育料		【区立保育園・区立幼保一元化施設 長時間】			
階層	保護者全員の区民税合計	延長1時間 月額			スポット 月額
		3歳未満児	3歳児	4歳以上児	
A	生活保護世帯	0	0	0	0
B	区民税非課税世帯	0	0	0	0
C	区民税均等割のみの課税世帯	600	600	600	200
D1	区民税所得割額が 5,000円未満	600	600	600	200
D2	5,000円以上 20,000 //	600	600	600	200
D3	20,000 // 50,000 //	600	600	600	200
D4	50,000 // 80,000 //	700	600	600	200
D5	80,000 // 110,000 //	900	600	600	200
D6	110,000 // 140,000 //	1,000	700	700	200
D7	140,000 // 165,000 //	1,100	700	700	200
D8	165,000 // 190,000 //	1,200	800	800	200
D9	190,000 // 215,000 //	1,300	900	900	200
D10	215,000 // 240,000 //	1,400	900	900	200
D11	240,000 // 265,000 //	1,500	1,000	900	200
D12	265,000 // 290,000 //	1,600	1,000	900	200
D13	290,000 // 310,000 //	1,700	1,100	900	200
D14	310,000 // 330,000 //	2,400	1,500	1,200	200
D15	330,000 // 350,000 //	2,600	1,500	1,200	200
D16	350,000 // 360,000 //	2,600	1,500	1,200	200
D17	360,000 // 370,000 //	2,800	1,500	1,200	200
D18	370,000 // 420,000 //	4,300	2,200	1,800	200
D19	420,000 // 470,000 //	4,800	2,200	1,800	200
D20	470,000 // 520,000 //	5,300	2,200	1,800	200
D21	520,000 // 620,000 //	5,700	2,200	1,800	200
D22	620,000 // 840,000 //	6,100	2,400	1,900	200
D23	840,000 // 1,200,000 //	6,500	2,400	1,900	200
D24	1,200,000 //	7,000	2,400	1,900	200

【左図】：渋谷区の延長保育料金表

○現状、所得に応じた金額設定がなされているが、

より時間貧困層に傾斜的にアプローチするため、**延長料金に限定した割引**を実施する。



政策案③ 歯科に関するガイドラインの作成

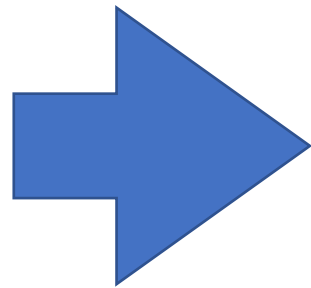
目的

時間貧困層の歯科検診受診を継続させる

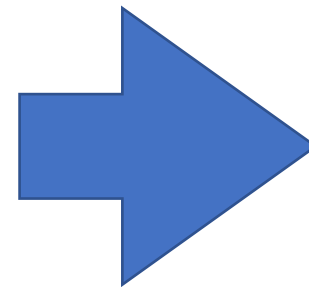
概要

ガイドラインの作成。
視覚的な情報と症状のフローチャートを用いて現状や将来になり得る口腔環境について詳細に説明する、患者の相談に親身にのり適切なアドバイスを提供する、といった内容を盛り込む。

歯科医の詳細な説明の必要性・視覚的情報の重要性・国民からの対話のニーズ



ガイドライン化



歯科検診受診の継続化・口腔環境における格差の改善



政策が社会にもたらす効果

未就学児に対するう蝕治療を中心に、口腔環境を整備することで、口腔崩壊や全身の病気のリスクを軽減させ、最終的には、親の時間貧困から発生する口腔環境の健康格差是正を達成する。

時間貧困

政策案

知識の
獲得

意思の行動
への反映

歯に関する
選択的健康
格差の是正

全体の選択
的健康格差
の是正